

LIXIL

CZドア丁番

交換手順書

必要な工具	手回しプラスドライバー、2.5mm六角レンチ(上下丁番に同梱)
-------	---------------------------------

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

●本体脱落の原因になりますので、下記事項をお守りください。

- ・上下丁番のぎぼしは、必ず下まで下ろしてください。
- ・建付け調整(丁番による調整)時、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の留めねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。

■取付け上のお願い

●丁番のねじ締付けおよび建付け調整の際は、手回しドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

■対象となるドア丁番

商品コード	商品名称	ドア1体分の必要数	付属ねじ
FNMB095	上丁番L用	各1※左吊の場合	皿小ねじM4×25：2本 皿タッピンねじφ4×20：6本
FNMB099	下丁番L用		
FNMB096	上丁番R用	各1※右吊の場合	皿小ねじM4×25：2本 皿タッピンねじφ4×20：6本
FNMB100	下丁番R用		

■交換手順

1. 本体の取外し

①上下の丁番カバーを取外します。

(図1)

②2.5mm六角レンチで扉側上丁番の留めねじをゆるめ(1回転)、手回しプラスドライバーでぎぼしの刻印AまたはCに合マークを合わせて、ぎぼしを上げます。(18mm)

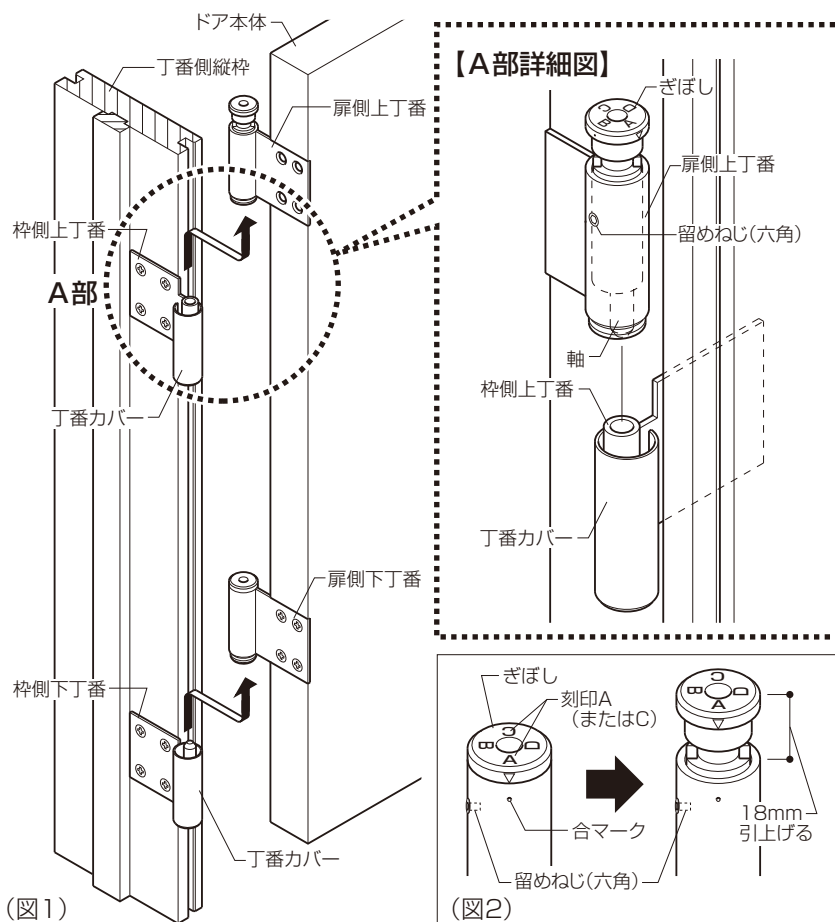
(A部詳細図、図2)

※必ず片方の手で本体が外れないように保持してください。

③ドア本体上部を少し傾けて、ドアを上げます。

(図1)

※両手で本体が外れないように保持してください。

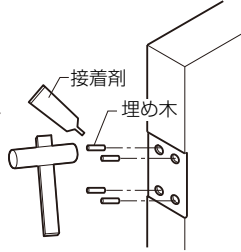


2. 扉側丁番の交換

- ①手回しプラスドライバーでドア本体から丁番を取外します。
(図3)
- ②丁番を交換し、手回しプラスドライバーでねじ留めします。
※ねじが空回りする場合は、必ずねじ穴に埋め木をし、ねじの保持力を高めてください。

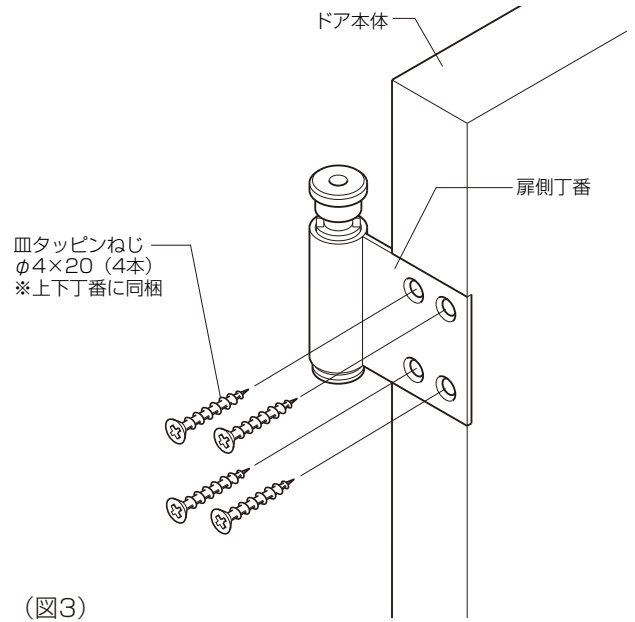
■埋め木の取付け方

- ①埋め木に接着剤を付けてください。
- ②ねじ穴に埋め木を入れてください。
- ③埋め木がねじ穴からはみ出る場合は、カッターで削ってください。



●お願い

※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。



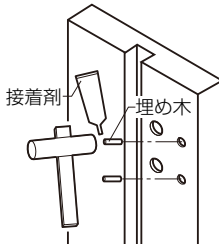
(図3)

3. 枠側丁番の交換

- ①手回しプラスドライバーで枠側丁番の取付けねじを外します。
(図4)
- ②枠側丁番を交換し、手回しプラスドライバーでねじ留めします。
※ねじが空回りする場合は、必ずねじ穴に埋め木をし、ねじの保持力を高めてください。
- ※戸当り溝側の枠側丁番のねじ穴には枠の裏側から鬼目ナットが入っているため、ねじが空回りすることがなく、埋め木は必要ありません。

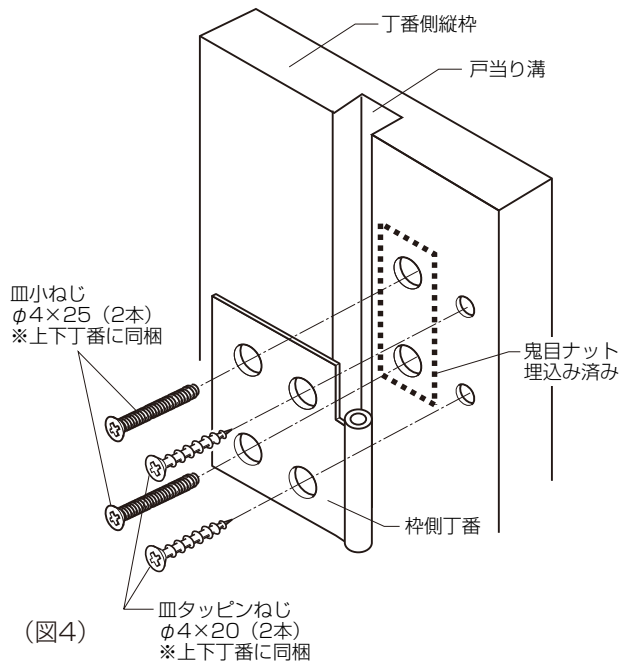
■埋め木の取付け方

- ①埋め木に接着剤を付けてください。
- ②ねじ穴に埋め木を入れてください。
- ③埋め木がねじ穴からはみ出る場合は、カッターで削ってください。



●お願い

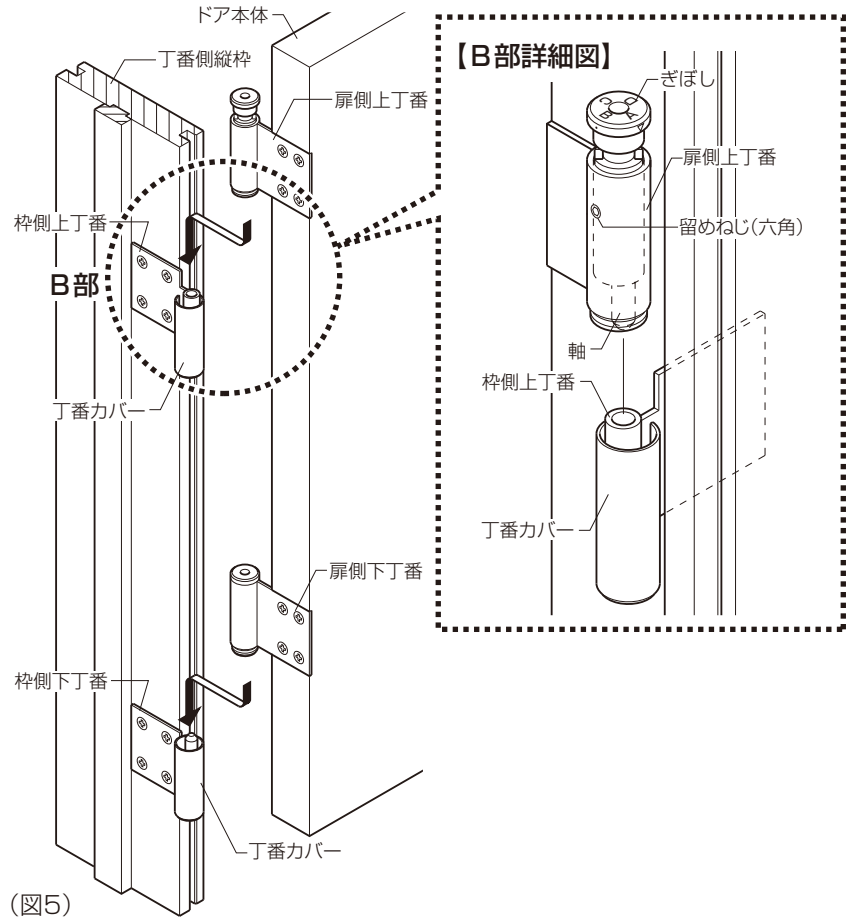
※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。



(図4)

4. 本体の吊込み

- ① ドア本体の扉側上丁番のぎぼしを上げたまま扉側下丁番を枠側下丁番に差込みます。
(図5)
 - ② 扉側上丁番の軸を枠側上丁番に合わせた後、ぎぼしを下げます。
(図5 B部詳細図)
 - ③ 扉側丁番の留めねじを必ず2.5mm六角レンチで締付けてください。
 - ④ 丁番カバーを差込みます。
- ※ ドア本体の吊込み後、上下・左右のチリ寸法を確認してください。



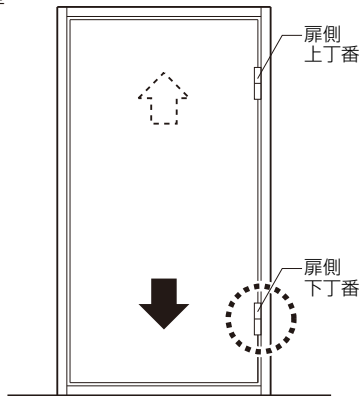
▲ 注意

- 上下丁番のぎぼしは、必ず下まで下ろしてください。本体脱落の原因になります。

5. 建付け調整

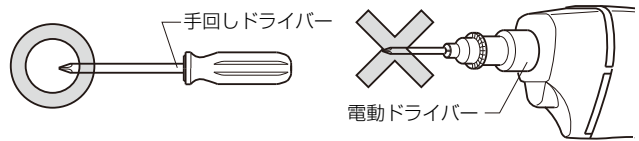
上下だけの調整

- 扉側下丁番で調整します。
- 調整幅は、上(3mm)、下(2mm)です。



お願い

※建付け調整の際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。



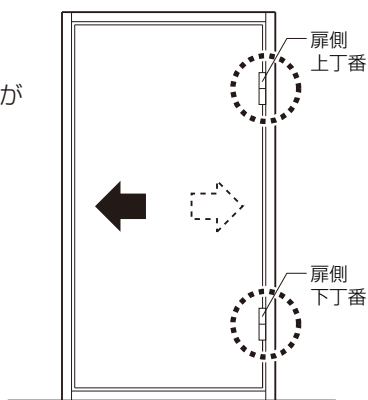
▲注意

- 建付け調整(丁番による調整)時、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の留めねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。本体脱落の原因になります。

不具合例		調整方法
1	<p>ドアの上部が枠に当たる</p>	<p>ドアを下げてください</p> <ol style="list-style-type: none"> ①留めねじを半回転ゆるめます。 ②A刻印から左へ1回転させます。(1mm下がります。) ※2mm(2回転)まで下がります。 ③調整後、A刻印を合マークに合わせて留めねじを強く締めます。
2	<p>ドアの下部が枠に当たる</p>	<p>ドアを上げてください</p> <ol style="list-style-type: none"> ①留めねじを半回転ゆるめます。 ②A刻印から右へ1回転させます。(1mm上がります。) ※3mm(3回転)まで上がります。 ③調整後、A刻印を合マークに合わせて留めねじを強く締めます。

左右だけの調整

- ※右吊本体で説明してあります。
左吊本体の場合、調整ねじの回転方向が逆になります。
- 扉側上丁番および扉側下丁番の両方で調整します。
 - 調整幅は、左右各2mmです。



お願い

※建付け調整の際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

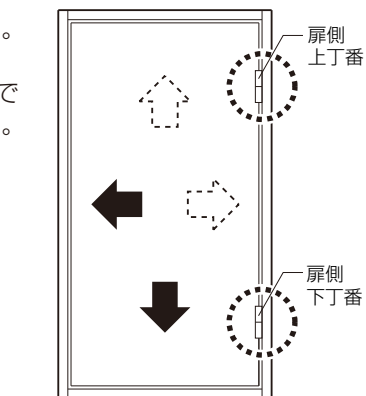
▲ 注意

- 建付け調整後、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の留めねじが必ず締まっていることを確認してください。丁番固定ねじの締忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因になります。

	不具合例	調整方法
1	<p>ドアの開き側が枠に当たる</p>	<p>ドアを吊元側に移動してください</p> <ol style="list-style-type: none"> ①留めねじを半回転ゆるめます。 ②A刻印から左に90°回すとハンドル側のチリが2mm広がります。 ※微調整は90°内で行ってください。90°以上回すと高さが変わりますのでご注意ください。 ③調整後、留めねじを強く締めます。
2	<p>ドアの開き側のすき間が大きすぎる</p>	<p>ドアを開き側に移動してください</p> <ol style="list-style-type: none"> ①留めねじを半回転ゆるめます。 ②A刻印から右に90°回すとハンドル側のチリが2mm狭まります。 ※微調整は90°内で行ってください。90°以上回すと高さが変わりますのでご注意ください。 ③調整後、留めねじを強く締めます。

上下・左右両方の調整

- まず、扉側下丁番で上下の調整をします。次に扉側上丁番および、扉側下丁番で左右の調整をします。

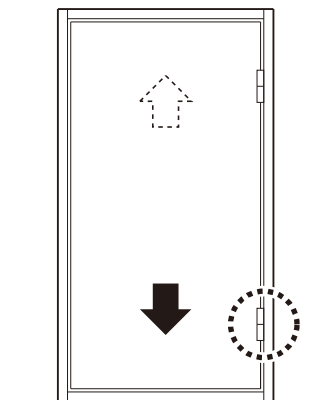


調整方法

※上下・左右両方の調整は、上下の調整を先に行ってください。左右の調整を先にと、調整しにくくなりますのでご注意ください。

※調整方法は、P4の「上下だけの調整」、およびP5の「左右だけの調整」をご覧ください。

1.上下の調整



2.左右の調整

